

幕末長州藩の海事志向と渡辺蒿蔵

—松下村塾から造船の道へ—

講師: 牛見 真博 うしみ まさひろ

参加費無料

2023年2月18日(土) 14:00~16:00 Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)



英国修業時代の渡辺蒿蔵 (萩市立萩博物館蔵)

長州藩の渡辺蒿蔵(天野清三郎、1843-1939)は、吉田松陰の松下村塾で学び、志士として活動した後、海外留学し造船を学んだ。帰国後は工部省に入り、明治7年には官営長崎造船所第二代所長(後に長崎造船局初代局長)となり、近代造船業の礎を築いた。

その背景としての幕末長州藩における吉田松陰をはじめとする海事志向を踏まえながら、志士から造船の道に進んだ渡辺蒿蔵への影響を含めて概観したい。

■牛見 真博(うしみ まさひろ) 日本海事史学会会員

1976年生まれ。立命館大学文学部卒業後、山口県の高校教諭として奉職。勤務の傍ら、山口大学大学院博士課程修了。博士(学術)。著書に『長州藩教育の源流—徂徠学者・山県周南と藩校明倫館—』(溪水社、2013年)。現在、大島商船高等専門学校教授。



長州藩初の洋式船「丙辰丸」(山口県文書館蔵)



明治14年に建造中の「小菅丸」(三菱重工業長崎造船所蔵)

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
お申込みいただいた方には2月15日(水)までにご連絡いたします。
- 会員にはメールでご案内をお送りしています。
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■ 申込〆切: 2023年2月14日(火) 正午(12:00)

■ 申込先: kaijishi.web@gmail.com (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 3月25日(土)・4月22日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回)／総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

日本海事史学会 The Japan Society for Nautical Research

ご入会随時受付中

<https://kaijishi.jp/>

